

資料 1 - 2

遺伝子組換えに関する表示に係る加工食品品質表示基準第 7 条第 1 項及び生鮮食品品質表示基準第 7 条第 1 項の規定に基づく農林水産大臣の定める基準（平成 1 2 年農林水産省告示第 5 1 7 号）一部改正（案）新旧対照表

改 正 案	現 行
<p>遺伝子組換えに関する表示に係る加工食品品質表示基準第 7 条第 1 項及び生鮮食品品質表示基準第 7 条第 1 項の規定に基づく農林水産大臣の定める基準</p> <p style="margin-left: 20px;">（適用の範囲）</p> <p>第 1 条 【略】</p> <p style="margin-left: 20px;">（定義）</p> <p>第 2 条 【略】</p> <p style="margin-left: 20px;">（表示の方法）</p> <p>第 3 条 【略】</p>	<p>遺伝子組換えに関する表示に係る加工食品品質表示基準第 7 条第 1 項及び生鮮食品品質表示基準第 7 条第 1 項の規定に基づく農林水産大臣の定める基準</p> <p style="margin-left: 20px;">（適用の範囲）</p> <p>第 1 条 【略】</p> <p style="margin-left: 20px;">（定義）</p> <p>第 2 条 【略】</p> <p style="margin-left: 20px;">（表示の方法）</p> <p>第 3 条 対象農産物を原材料とする加工食品（これを原材料とする加工食品を含む。）のうち次の各号に掲げるものの表示に際しては、製造業者、加工包装業者又は輸入業者（販売業者が製造業者、加工包装業者又は輸入業者との合意等により製造業者、加工包装業者又は輸入業者に代わってその品質に関する表示を行うこととなっている場合にあつては、当該販売業者）は、加工食品品質表示基準第 4 条に規定するもののほか、その容器又は包装に次の各号に規定するところにより、対象農産物について記載しなければならない。ただし、容器又は包装の面積が 30cm²以下である場合は、この限りでない。</p> <p style="margin-left: 20px;">(1) 【略】</p> <p style="margin-left: 20px;">(2) 別表 3 の左欄に掲げる形質を有する特定遺伝子組換え農産物を含む同表の右欄に掲げる対象農産物を原材料とする加工食品（これを原材料とする加工食品を含む。）であつて同表の中欄に掲げるもの</p> <p style="margin-left: 40px;">ア 特定分別生産流通管理が行われたことを確認した特定遺伝子組換え農産物である別表 3 の右欄に掲げる対象農産物を原材料とする場合は、加工食品品質表示基準第 3 条第 7 項の規定にかかわらず、当該原材料名の次に括弧を付して「○○○遺伝子組換えのものを分別」、「○○○遺伝子組換え」（○○○は、同表の左欄に掲げる形質）等特定分別生産流通管理が行われた特定遺伝子組換え農産物である旨を記載すること。</p> <p style="margin-left: 40px;">イ 特定遺伝子組換え農産物及び非特定遺伝子組換え農産物が意図的に混合された別表 3 の右欄に掲げる対象農産物を原材料とする場合は、加工食品品質表示基準第 3 条第 7 項の規定にかかわらず、当該原材料名の次に括弧を付して「○○○遺伝子組換えのものを混合」（○○○は、同表の左欄に掲げる形質）等特定遺伝子組換え農産物及び非特定遺伝子組換え農産物が意図的に混合された農産物である旨を記載すること。この場合において、「○○○遺伝子組換えのものを混合」等の文字の次に括弧を付して、当該特定遺伝子組換え農産物が同一の作目に属する</p>

(表示が不要な加工食品)

第4条 【略】

(表示禁止事項)

第5条 【略】

別表1 【略】

別表2 【略】

別表3 (第3条関係)

形質	加工食品	対象農産物
高オレイン酸	1 大豆を主な原材料とするもの(脱脂されたことにより、左欄に掲げる形質を有しなくなったものを除く。) 2 第1号に掲げるものを主な原材料とするもの	大豆
ステアリドン酸産生		
高リシン	1 とうもろこしを主な原材料とするもの(左欄に掲げる形質を有しなくなったものを除く。) 2 第1号に掲げるものを主な原材料とするもの	とうもろこし

対象農産物に占める重量の割合を記載することができる。

2 対象農産物の表示に際しては、販売業者は、生鮮食品品質表示基準第4条に規定するもののほか、次の各号に規定するところによらなければならない。

(1) 【略】

(2) 別表3の左欄に掲げる形質を有する特定遺伝子組換え農産物を含む同表の右欄に掲げる対象農産物

ア 特定分別生産流通管理が行われたことを確認した特定遺伝子組換え農産物である別表3の右欄に掲げる対象農産物の場合は、当該対象農産物の名称の次に括弧を付して「○○○遺伝子組換えのものを分別」、「○○○遺伝子組換え」(○○○は、同表の左欄に掲げる形質)等特定分別生産流通管理が行われた特定遺伝子組換え農産物である旨を記載すること。

イ 特定遺伝子組換え農産物及び非特定遺伝子組換え農産物が意図的に混合された別表3の右欄に掲げる対象農産物の場合は、当該対象農産物の名称の次に括弧を付して「○○○遺伝子組換えのものを混合」(○○○は、同表の左欄に掲げる形質)等特定遺伝子組換え農産物及び非特定遺伝子組換え農産物が意図的に混合された農産物である旨を記載すること。この場合において、「○○○遺伝子組換えのものを混合」等の文字の次に括弧を付して、当該特定遺伝子組換え農産物が同一の作目に属する対象農産物に占める重量の割合を記載することができる。

3 【略】

4 【略】

(表示が不要な加工食品)

第4条 【略】

(表示禁止事項)

第5条 【略】

別表1 【略】

別表2 【略】

別表3 (第3条関係)

形質	加工食品	対象農産物
高オレイン酸	1 大豆を主な原材料とするもの(脱脂されたことにより、左欄に掲げる形質を有しなくなったものを除く。) 2 第1号に掲げるものを主な原材料とするもの	大豆
高リシン		
高リシン	1 とうもろこしを主な原材料とするもの(左欄に掲げる形質を有しなくなったものを除く。) 2 第1号に掲げるものを主な原材料とするもの	とうもろこし